

令和3年度  
**印西市民アカデミーだより**  
 第2号

**印西の歴史散策 1 (木下/上町・下町・幸町)**

5月7日(金)に第1回目の歴史散策が開催されました。コースは、中央公民館→利根川堤防・木下河岸跡→吉岡博物館→山根山不動尊→木下交流の杜歴史資料センター→万葉公園→木下貝層→上町観音堂→中央公民館(約3km)。江戸から明治時代にかけて、利根川水運の要所として栄えた「木下河岸」周辺を散策しました。明治時代に作成された地図を見ながら歩いていくと、利根川の土手の風景は大きく変わっていますが、街並みの区画はほとんど変わっておらず、当時から続く商店等も残っていることが分かりました。



木下河岸

◆明治時代後期に撮影された茨城県側から見た木下河岸。中央に帆をあげていく高瀬舟が見える。後方の庚申山は、利根川土手の嵩上げ用の土取場となり、現在は住宅地となっている。



灯籠

◆吉岡博物館の奥にある市内で一番大きい木下貝層でつくられた石灯籠。一同ビックリ!



利根川の眺望

◆木下交流の杜からは、利根川の絶景を眺めることができる。筑波山、日光連山、赤城山、富士山、スカイツリーもよく見える。



山根山不動尊

◆山根山不動尊には、明治時代に建立された「唐犬濱之墓」と平将門の愛妾だった「小宰相(桔梗の前)の供養塔」がある。



万葉公園

◆万葉公園にある「木下音頭」の歌碑。作詞は、サトウハチロー。  
 ♪利根の流れに きおろし音頭  
 ヨイト 唄がひびいて…♪



木下貝層

◆主に12~13万年前に形成された貝化石を多量に含む地層。2002年に国の天然記念物に指定された。